



# 2024 夏のボランティアチャレンジに参加するにあたって

## ～楽しいボランティア活動を行うための心構えと注意事項～

### ボランティア活動をする前に…


### Volunteer


 自分の気持ちを確認しよう  
ボランティアを有意義に行うために、「こんなボランティア活動をしたい」「こんなことが楽しみ」というような「積極的な動機」を自分の中で確認しておきましょう。


 活動に必要なことは事前に確認しよう  
活動日前に、交通機関、持ち物、服装など、必ず体験受入団体・施設へ確認しましょう。不安なことや心配なことは、堺市社会福祉協議会各区事務所（ボランティア相談コーナー※）に相談しましょう。  
※ 当事業チラシ裏面をご覧ください。


### ボランティア活動が始まったら…


### Volunteer


 無断欠席・遅刻はしない（必ず連絡を）  
体験受入団体・施設はボランティアを受け入れるために準備をしています。無断欠席などないようにしましょう。やむを得ず活動予定日に欠席または遅刻する場合は必ず体験受入団体・施設に連絡してください。

 マナーやスタッフの指示を守ろう  
体験受入団体・施設では、それぞれの取り組みの方針があり、目的やルールも違います。スタッフの指示は、必ず守ってください。また、施設内の機器など勝手に触ると事故の原因になりますので気を付けましょう。やりたいことなど自分の希望については、体験前に担当者へ伝えましょう。

 利用者との「関係づくり」を大切に  
利用者との「関係づくり」はボランティア活動においてとても大切です。笑顔であいさつし、自分から積極的に利用者へ話しかけてみましょう。ただし、相手の意思や考えを尊重し、相手を理解するように心がけましょう。


 施設・団体スタッフから話を聞こう  
実際のボランティア活動を通して、グループの活動やメンバーの姿勢など、自分から積極的に質問してみましょう。そのチャレンジに対する認識が深まり、人を援助する仕事や活動への理解も深まるはずです。


 利用者のプライバシーを守ろう  
（秘密は外にももらさない）  
ボランティア活動中に知り得た利用者のことなど、個人情報や絶対的に外にももらしてはいけません。利用者との話の内容や質問内容にも十分配慮しましょう。

 自分の「気づき」を大切に  
ボランティアチャレンジでは、心に余裕を持ち、感受性豊かに自分で「感じる」ことが大切です。ボランティア活動をとおして様々なことに気づいてください。

### ボランティア活動が終わったら…

### Volunteer

 ボランティア活動を振り返ろう  
自身の体験や感じたことを家族や友人に話をしたり、記録にまとめてみましょう。自分の体験を言葉や文字にすることで、そのチャレンジに対する知識や考え方が深まり、また自分自身のことも気づかせてくれるはずです。

 他のボランティア活動にも申し込もう  
あなたはこのボランティア活動を通じてどんな事を感じましたか？これからどんなことをしていきたいですか？「ボランティアチャレンジだけではないボランティア活動をしたい」という方、ぜひ堺市社会福祉協議会各区事務所（ボランティア相談コーナー）にお越しください。お待ちしております。

#### ボランティアを行うときのチェックポイント

- ☑ あいさつ・返事は欠かさずきちんと行う。
- ☑ 健康管理に気をつける。（うがい・手洗いを忘れずに。体調の悪いときは受入先の担当者へ相談する。）
- ☑ スマホやタブレット端末等は原則使用しない。やむを得ず私用がある場合は、事前に体験受入団体・施設へ相談をする。
- ☑ ボランティア体験活動に必要なものを持っていない。また、貴重品は自己管理する。
- ☑ 服装は「ボランティア体験に着用するもの」（動きやすい服装）を活動の内容を想定しながら考えること。過度な露出やサンダル、ハイヒール等は適しません。暑い季節なので帽子やタオル、飲み物は必須です。
- ☑ 身だしなみには気をつけること。（アクセサリーは禁止無精髭や過度の化粧・香水、爪や髪にも注意）